



いくと予想され、表時に、営業利益は1億円から200億円に上方修正してい。従つて同社の収益も安定的に右肩上がりで予想される。主な設備工事は配電線工事、地中線工事、通信工事、屋内線工事、空調管工事など。今期中間期までの実績をみると売上高の31%が配電線工事、いる。直近の手持工事33%が屋内線工事となつていて、なお工事全体の37・9%が中部電力向けとなつていて、用途別でみると、オである。受注案件は近

トーエネット（1946）は中部電力の関連会社で電気工事の大手である。主な設備工事は配電線工事、地中線工事、通信工事、屋内線工事、空調管工事など。今期中間期までの実績をみると売上

高の31%が配電線工事、いる。直近の手持工事33%が屋内線工事となつていて、なお工事全体の37・9%が中部電力向けとなつていて、用途別でみると、オである。受注案件は近

高は1483億円、受注高は1255億円とタセントーの新設も増えており良好である。

## トーエネット

# 中電関連会社で電気工事大手 株価はPER、PBRとも割安

トーエネット（1946）は中部電力の関連会社で電気工事の大手である。主な設備工事は配電線工事、地中線工事、通信工事、屋内線工事、空調管工事など。今期中間期までの実績をみると売上

高は1483億円、受注高は1255億円とタセントーの新設も増えており良好である。

環境は、大都市における再開発の増加やデータセンターニーの新設も増えており良好である。

トーエネット（1946）は中部電力の関連会社で電気工事の大手である。主な設備工事は配電線工事、地中線工事、通信工事、屋内線工事、空調管工事など。今期中間期までの実績をみると売上

高は1483億円、受注高は1255億円とタセントーの新設も増えており良好である。

環境は、大都市における再開発の増加やデータセンターニーの新設も増えており良好である。

トーエネット（1946）は中部電力の関連会社で電気工事の大手である。主な設備工事は配電線工事、地中線工事、通信工事、屋内線工事、空調管工事など。今期中間期までの実績をみると売上

高は1483億円、受注高は1255億円とタセントーの新設も増えており良好である。

環境は、大都市における再開発の増加やデータセンターニーの新設も増えており良好である。

一部は前期に達成して、が、首都圏や近畿圏から現在、新たな中期の一般得意先からの仕事がより増加してこ

う。そこで同社も東証が求めており、来年高値に近い水準だが、同業他社に比べ、出遅れ感は否めない。

